



輝け！北っ子！

16日の地震において、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

学力向上非常勤講師 小島経子先生 ありがとうございます ～お別れインタビュー～

二本松市から「学力向上非常勤講師」として配置されていた小島経子。算数での指導や図画工作科の指導をはじめ、日本語指導や子どもたちの悩み相談まで幅広く、子どもたち、北小を支えていただきました。本日最終勤務日となりました。本当にこれまでありがとうございました。

小島先生の思いをインタビュー形式で紹介します。

Q：北小の非常勤講師を勤めて、どのくらいになりましたか。

A：2年間になります。本当にあっという間でした。

Q：北小にきて思い出に残っていることを教えてください。

A：たくさんありすぎて・・・やはり子どもたちとたくさん関わることができた図工の時間ですね。目を輝かせて集中して作品作りに取り組む姿、できあがった作品を見せ合い、互いに称賛する姿は忘れられません。

Q：北小の子どもたちの「よさ」はどんなところだと思いますか。逆に「もう少しがんばってみたい」ということについても感じていることを教えてください。

A：元気にあいさつできる場所、礼儀正しいところ、そして、相手に対して思いやりの言葉を掛けられるところは素晴らしいと思います。正しい判断の下、自分が今何をしなければならないかを考え、実行に移していくことについてはこれからもがんばってやって欲しいと思っています。

Q：子どもたちへのメッセージとあわせてお願いします。

A：Not the Best, But the First（1番にならなくてもいい 1級品であれ）を目指して欲しいと思っています。

Q：保護者の皆さんへお伝えしたいことを聞かせてください。

A：コロナ禍でいろいろな制限がある中、お子様を見守り、育ててこられたことに頭が下がります。どんな状況の下でも親の愛情を感じて育った子どもは、困難を乗り越えていきます。大変な時代ですが、がんばってください。大変お世話になりました。

終始、穏やかにインタビューに答えてくださった小島先生。温かいお人柄が伝わってきました。



ちょっとうれしい話 ～感謝のお手紙 ありがとうございます～

15日朝、本校の栄養教諭からうれしい報告を受けました。「給食調理に関わる皆様へ」という手紙をいただいたということでした。匿名でしたが、手紙には、家での給食の話題のことや残飯に対する考えなどと一緒に、「感謝」の言葉が記されていました。とてもうれしく、温かい気持ちになりました。手紙は給食に関わるみんなで読ませていただきました。みんなとてもうれしそうでした。

学校は多くの人たちの関わりによって運営されています。授業を担う教師だけではどうしようもありません。教師を含め、学校に関わるすべての人、一人一人がその役割を精一杯行うことで、はじめて学校が動き、子どもたちの成長を支えることができます。学校に関わる多くの人に目を向けていただいたこと、感謝の気持ちを伝えていただいたこと、学校を預かる校長としてこんなにもうれしいことはありません。活力になります。本当にありがとうございました。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

----- 切り取り線 -----